



中四国支部医学検査学会(第55回)

2022(R4)年度

日本臨床衛生検査技師会



撮影：黒島眞太郎技師(JR広島病院)

共創「CO-CREATION」 「知識」「技術」「信頼」

会期

令和4年10月22日^土・23日^日

会場

広島国際会議場

学会長

一般社団法人広島県臨床検査技師会副会長
米田 登志男

演題登録期間

令和4年
4月1日^金

令和4年
5月15日^日

5月31日(火)に延長しました。

開催概要

大会名称：2022(R4)年度 日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会(第55回)

テーマ：(メイン) 共創「CO-CREATION」(サブ)「知識」「技術」「信頼」

会期：令和4年10月22日(土)・23日(日)

会場案内：広島国際会議場 広島県広島市中区中島町1-5(広島平和記念公園内)

TEL：082-242-7777

大会HP：<https://jamt-cs2022-hiroshima.jp/>

学会長挨拶

この度、日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会(第55回)を、2022年10月22日(土)、23日(日)の両日、国際平和文化都市広島を中心 広島国際会議場で、広島県臨床検査技師会が担当し開催いたします。



学会のテーマは、共創「Co-Creation」サブテーマ「知識」「技術」「信頼」としました。

新型コロナウイルス感染症によって変わったこれからの社会、タスクシェア・タスクシフティングの講習会や臨地実習指導者の育成など、臨床検査技師も変化を求められています。我々が臨床にとって不可欠な職種として存続するためには何が必要なのか?多種多様な立場の人たちと対話しながら共に考え、検査の新しい価値を創造していきたいとの思いでテーマを決定しました。

本学会では市民公開講演、教育講演、シンポジウム、R-CPC、一般演題などのプログラムを予定しております。一昨年来のCOVID-19パンデミックは、日常生活は元より本学会においても甚大な影響を与えておりますが、今年こそは学会本来の熱気や臨場感、緊張感そして人とのふれあいを感じていただけるよう是非とも現地開催すべく広島県臨床検査技師会一丸となって準備を進めております。

広島「てっぱん」観光は、世界文化遺産に登録されている厳島神社や原爆ドームを始め、鞆の浦、三次もののけミュージアムなど数多くございます。また許される状況でしたら中四国最大の歓楽街「流川」で溺れてみるのも一興かと存じます。足を運ばれてはいかがでしょうか。

皆様方に多数ご参加いただき、満足していただける学会になるように最善を尽くしてまいります。何卒、ご理解ご支援の程心よりお願い申し上げます。

学会事務局

一般社団法人 広島県臨床検査技師会
〒730-0013 広島市中区八丁堀6-10 グレイスビル801号
TEL：082-502-6011 FAX：082-502-6031
E-mail：2022tyushi@hiroringi.or.jp

運営事務局

近畿日本ツーリスト株式会社広島支店(担当：有吉)
〒730-0032 広島市中区立町1-24 有信ビル7階
TEL：082-502-0909 FAX：082-221-7039
E-mail：jamt55@or.knt.co.jp

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 担当：一般社団法人 広島県臨床検査技師会

開催プログラム・企画概要

教育講演

『新型コロナウイルス感染症 ～いままで、そしてこれから～』
so far and from now on

広島大学理事・副学長
広島大学大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学 教授
広島県感染症・疾病管理センター感染症専門員

田中 純子先生



一般公開講座

近日、夢の企画を一般公開します。

特別企画

みんなで考える症例検討会
他部門で考える RCPC

過去に広島県で実施した症例検討会から、多くの反響を踏まえ中四国学会での症例検討会を開催！身体所見から画像や検査値、診察を進めるように検査を読み解き、実際の症例をもとに患者状態を考えてみよう！

部門別企画

01 生理部門

検査手技の基本

正確な検査結果を目指す

各検査について検査手技の基礎やコツなどを解説していただき、初心者スキルアップや手技の再確認に役立てていただく。

02 生理部門

知っておきたい心血管エコー

明日から活かす！
心血管エコーのスキルアップ

心血管エコーはスクリーニングをする手段として日常検査に必要不可欠なものである。有用な検査結果を報告するため基本を理解し結果の判読および臨床に必要な情報を提供できるようになればと考える。

03 血液部門

症例から学ぶ凝固検査

知識と技術から信頼を得られる検査室を目指して

症例提示から疾患の病態と検査データのつながりを読み解き、解説していただくことで理解を深め、日常検査に役立てていただきたい。

04 病理細胞部門

病理技師による切り出し

切り出しをイチから考える

医師の働き方改革に伴うタスク・シフト/シェアにおいて「手術検体等に対する切り出し」が含まれている。今一度切り出しについて議論を深め、必要となる技術・着眼点・体制づくりなどを共有していきたい。

05 微生物部門/染色体・遺伝子部門

微生物検査体制の再構築 遺伝子学的検査導入と活用展望

コロナ禍において、多くの施設でPCR検査機器が導入された。導入後における検査体制の変化に伴う自施設での現状と今後の課題について他施設の状況を知ること自施設の運用へ活かす。

06 微生物部門

微生物検査の精度管理 小さなことからコツコツと

微生物検査の精度管理についてISO 15189取得施設を中心に現在実施されている品質・精度確保のための取り組みや環境整備についてご紹介いただき、自施設において実現可能な精度管理体制を構築する。

07 一般部門

新たな価値を見出す ～知識と技術から信頼へ～

臨床医と共創する一般検査のあり方を考える。スライドカンファレンスでは集計機能を使い、各細胞形態の特徴を学ぶことで、中四国全体のボトムアップへと繋げたい。

08 生物化学部門

臨床化学検査の創造

これからの臨床化学検査に求められること

医療法等の一部改正やタスク・シフト/シェア等、時の流れとともに日々変化する医療体制の中で、これから求められる臨床化学検査について、各施設が取り組んでいる臨床支援の事例をもとに参加者とともに考えていく。

09 生物化学部門

いまこそ学ぼう臨床化学・免疫検査の基礎 極めよう生化学・免疫検査の呼吸

生化学・免疫検査の基本に立ち返り、各検査や精度管理について、基礎や原理などを解説していただき、若手技師のスキルアップやベテラン技師のブラッシュアップに役立てていただく。

10 染色体・遺伝子部門/病理細胞部門

がんパネル検査の現状

がんパネル検査の現状と、検査技師としての関わり

2019年より保険適用となったがん遺伝子パネル検査。これまでに1万症例をこえるパネル検査が実施されてきたが、その運用や検査技師としてのかわりについて、中核拠点・拠点・連携病院の立場から現状に迫る。

11 輸血・細胞治療部門

『〇〇もできる』を目指せ!

～輸血部門のタスク・シフト/シェア～

『検査ができる』だけじゃない!『〇〇もできる』検査技師を目指して、輸血部門のタスク・シフト/シェアを参加者とともに考える。

12 検査総合管理部門

これからの臨床検査技師に求められる 診療支援の在り方とは

良質な医療の提供と地域医療構想に向けた検討

本年度の診療報酬改定で安心・安全で質の高い医療の実現のための働き方改革等の推進に伴い、各職種が高い専門性を十分に発揮するための勤務環境の改善、タスク・シフト/シェア、チーム医療の推進を掲げている。求められる診療支援の在り方とは?